

No. 2-6

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 02 - 6

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		6		作成日		30年 6月 29日			
事務事業名		統計調査事業費						シート作成部署					
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	政策課		係名	政策係	
		5-1 働きがいのあるまちをつくる						シート作成者					
	施策	5-1-4 勤労者福祉と雇用の充実						予算費目	会計		一般		
									款		2		
主要施策	④定期的な情報収集						項		5				
							目		1				
個別計画名													
住民との関わり		特になし											
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）								
	国が行う各種統計調査				各種統計調査が正確かつ円滑に実施されている。								
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 国勢調査 ・ 経済センサス ・ 住宅・土地統計調査 ・ 就業構造基本調査 ・ 全国消費実態調査 ・ 労働力調査 ・ 家計調査 ・ 学校基本調査 ・ 毎月勤労統計調査 ・ 農林業センサス ・ 工業統計調査 ・ 人口推計調査 											
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし											
根拠法令・要綱等													
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）					
全体事業費（千円）A+B		1,086			736			3,467					
財源内訳	国庫支出金		1,086			736			1,487				
	県支出金		0			0			0				
	地方債		0			0			0				
	その他特定財源		0			0			0				
	一般財源		0			0			0				
直接事業費（千円）A		1,086			736			1,487					
人件費（千円）B		0			0			1,980					
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		0.30 人		1,980
	臨時職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		0.00 人		0
成果指標	成果指標名				単位	29年度		30年度		31年度			
						目標	実績	（目標）		（目標）			
	①												
	②												
③													
説明		法定業務であり町に裁量がないため目標の設定が困難である。											

事業名		統計調査事業費			シート作成課		政策課	
一次評価者		政策課長			二次評価者		総務部長	
評価項目の説明	チェック項目				一次	二次	一次の評価又は説明	
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国の統計法に基づく調査を実施します。 国の調査により出された資料、データを各行政執行において、活用していきます。 統計法に基づき、指定された区域の調査を的確に実施しています。 国からの調査費用により、指定された調査を効率的に実施しています。
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
本事務事業の実施適切性の説明								
国の統計法に基づき、国の費用の範囲内で指定された区域を期間内に報告できるよう、適切に実施しています。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	(8) B	(8) A	
						(7) D	(8) C	(8)
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
今後の改革・改善目標	国の調査方法において、インターネットを活用した回答に切り替えを進めており、インターネットでの回答率を向上させるよう取組んでいきます。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	(8) B	(8) A	
						(7) D	(8) C	(8)
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
コメント	インターネットを活用した回答率の向上に努める必要があると考えます。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成		年度から	1 現在の手段を継続する			